

## - 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

県内の新型コロナウイルス検査の陽性者数は、第 24 週 917 人から第 26 週 1,984 人と 2.2 倍に大きく増加しました。県内全域で感染が拡大しているため、より一層こまめな手洗いや手指消毒、人が集まる場所での定期的な換気、場面に応じたマスクの着用といった基本的な感染予防対策を徹底しましょう。会食を行う際には、①大人数や長時間を避ける、②1 週間以内に感染リスクの高い行動をとった方や、体調のすぐれない方は出席しない等、会食ルールの順守にご協力をお願いします。発熱や咳に限らず鼻水や喉の痛み、倦怠感など、軽い風邪のような症状であっても症状のある方は必ず人と接触を避け、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター (089-909-3483)」へ事前に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ➡



## 発生動向の概況

**RS ウイルス感染症**の定点当たり報告数は、第 25 週 0.6 人から第 26 週 1.8 人と急増しました。地域別にみると、松山市保健所、八幡浜保健所で急増しているほか、今治保健所、中予保健所でも多い状況です。この疾患は、2 歳以下の乳幼児を中心に流行し、発熱や鼻汁、咳など軽いかぜ様症状がみられますが、生後 6 ヶ月未満の乳児が感染すると、細気管支炎や肺炎等の重篤な症状を起こすことがあります。日常的に乳児に接する方で咳等の症状がある場合は、マスクを着用し可能な限り乳児との接触を避けましょう。また、子どもたちが日常的に触れる手すりやおもちゃなどは、こまめにアルコール又は塩素系の消毒剤等で消毒し、液体せっけんと流水による手洗いを励行しましょう。

**梅毒**の届出が 10 例 (第 24 週含む) ありました。県内の 2022 年累計届出数は男性 44 例、女性 15 例で男女共に過去 5 年の同時期 (平均：男性 20 例、女性 11 例) では最も多い状況です。この疾患の病原体は梅毒トレポネーマで、大部分は性行為により感染します。検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。早期発見のため、症状の有無にかかわらず不安のある方は、県内各保健所で実施している電話相談や無料匿名検査をご利用ください。また、梅毒に感染したと分かった場合は、周囲で感染の可能性のある方 (パートナー等) にも検査を勧め、必要に応じて一緒に治療を行うことも重要です。

## 県内での感染症発生状況

- 全数把握感染症** ※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。
- 二 類 感 染 症 : 結核 6 例
  - 四 類 感 染 症 : 日本紅斑熱 2 例 (30 歳代女性、70 歳代女性)
  - 五 類 感 染 症 : 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例 (70 歳代女性)
  - 梅毒 8 例 (20 歳代男性、30 歳代男性、40 歳代男性、60 歳代男性、10 歳代女性、20 歳代女性 2 例、30 歳代女性 2022 年県内累計 59 例)

新型インフルエンザ等感染症 : 新型コロナウイルス感染症 2,976 例

\*その他、梅毒の届出が第 24 週に 2 例、新型コロナウイルス感染症の届出が第 13 週に 16 例、第 14 週に 10 例、第 19 週に 1 例、第 21 週に 1 例、第 22 週に 1 例、第 23 週に 2 例、第 24 週に 20 例ありました。

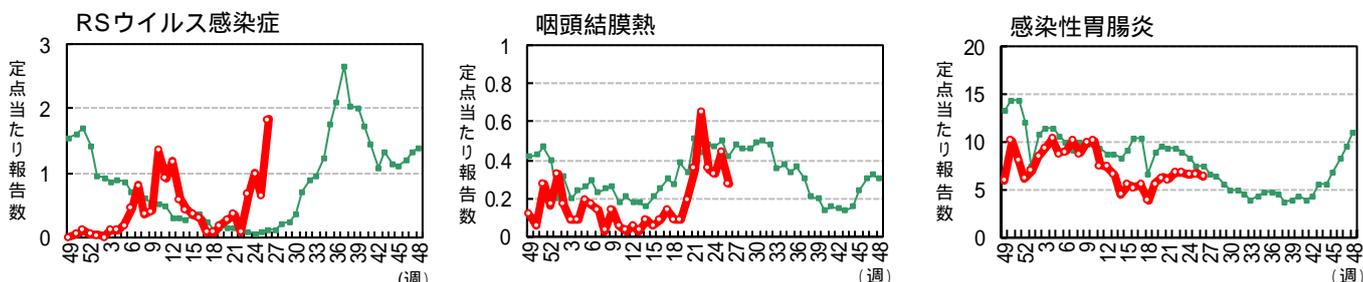
**定点把握感染症** (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾 病 名	愛媛県推移	県 内 の 傾 向
RS ウイルス感染症	1.8	急増。松山市、八幡浜保健所で急増。今治、中予保健所が多い。
咽 頭 結 膜 熱	0.3	減少。今治、松山市、中予保健所で散発。
感 染 性 胃 腸 炎	6.4	横ばい。四国中央、西条、松山市保健所は他保健所に比べ多い。

## 解析評価委員のコメントから

- RS ウイルス感染症** : [東予] 今治市の方でみられているようです。 [中予] 松山市で急増しています。  
[南予] 著明に増加傾向です。
- 咽 頭 結 膜 熱** : [東予] 結膜炎のないアデノウイルス感染はたまにみられます。  
[中予] あまり多くはありません。 [南予] 報告はありません。
- 感 染 性 胃 腸 炎** : [東予] 重症は少ないですが、まだみられています。 [中予] 横ばいです。  
[南予] 相変わらず発生数が多いです。

過去 30 週の動向 ( : 過去 30 週の動向、 : 過去 10 年の平均 )



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は [eikanken@pref.ehime.lg.jp](mailto:eikanken@pref.ehime.lg.jp) までお願い致します。

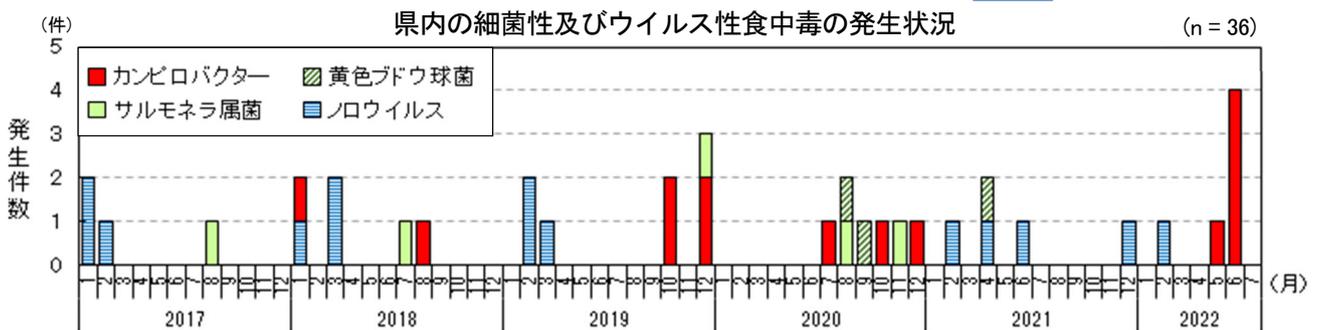
## -カンピロバクターによる食中毒に注意しましょう！-

令和4年7月6日現在

4月以降、県内では病原体定点から提供された感染性胃腸炎患者検体から、カンピロバクターが検出されています（次項「病原体検出情報」参照）。また、カンピロバクターによる食中毒が5月に1件、6月に4件発生しており、7月1日には「カンピロバクター食中毒注意報」が愛媛県及び松山市から発令されました。

カンピロバクターは、牛や鶏などの腸管内にいる細菌で、生や加熱不足の食肉（特に鶏肉）、調理器具や手指を介して二次汚染された生野菜等の喫食により感染します。少量の菌でも感染し、感染後1～7日の潜伏期を経た後、腹痛や下痢、嘔吐、発熱等の症状を引き起こします。カンピロバクターによる感染性胃腸炎や食中毒を予防するため、①生や加熱不十分な食肉の喫食は避け、十分に加熱調理する（中心部を75℃以上で1分間以上加熱）、②食肉は他の食品と調理器具や容器を分けて調理、保管する（二次汚染の防止）、③食肉を取り扱った調理器具等は洗浄・消毒する、④食肉を取り扱った後は十分に手を洗ってから他の食品を取り扱うことが重要です。

詳しくは県ホームページをご確認ください。「えひめ食の安全・安心情報（食中毒情報）」➡



出典: 愛媛県庁「えひめ食の安全・安心情報(食中毒の発生状況(一覧))」. <https://www.pref.ehime.jp/h25300/4793/shokuchuudoku/hassei-itiran.html>  
松山市「食中毒発生状況(松山市管内)」. <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kurashi/syokuhin/keikaku/new200115.html>

### 病原体検出情報

令和4年7月5日現在

○ 第26週に松山市で採取された感染性胃腸炎患者検体からカンピロバクター (*Campylobacter jejuni*) が検出されました。Penner 遺伝子型別は gG 群 HS:s/17 で、薬剤感受性試験の結果、ナリジスル酸、シプロフロキサシンに耐性を示しました。国立医薬品食品衛生研究所、国立感染症研究所及び6か所の地方衛生研究所で構成される衛生微生物技術協議会カンピロバクターレファレンスセンターの会議資料\*によると令和3年度に分離された散发事例由来計122株のPenner 遺伝子型別の内訳は、gB群が31株(25.4%)、gO群が16株(13.1%)、gG群およびgD群がともに13株(10.7%)でした。 \*[https://www.niid.go.jp/niid/images/lab-manual/reference/R4\\_Campyrobacter.pdf](https://www.niid.go.jp/niid/images/lab-manual/reference/R4_Campyrobacter.pdf)

#### ■ 過去5週 検出病原体

(2022年5月30日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
26	6/27～7/3	松山市	感染性胃腸炎	カンピロバクター	糞便	1

#### ■ 月別病原体検出結果

検体採取月		2022						合計
検出病原体		2	3	4	5	6	7	
ウイルス	ノロ	1	2	1				4
	サポ		1					1
	アデノ37				1			1
ウイルス計		1	3	1	1			6
細菌	カンピロバクター			1	1	1		3
	細菌計			1	1	1		3

#### ■ 臨床診断別検出結果

(2022年5月以降採取検体)

検出病原体	感染性胃腸炎	流行性角結膜炎	合計
アデノ37		1	1
ウイルス計		1	1
カンピロバクター	2		2
細菌計	2		2

注) 表中の検出数は7月5日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第26週 (2022.6.27~7.3)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 週推移 年齢別			
	1)			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2)		3)		4)		1)		
	インフルエンザ	迅速検査A型	迅速検査B型														ロタウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎			インフルエンザ(入院)	
四国中央				21	1								1	-	-										四国中央
西条				3		2	59					2													西条
今治				10	2	2	9					7			5										今治
松山市				35	6		101	3				6	1			-	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予				4	2	1	16					3													中予
八幡浜				15			15					7			1										八幡浜
宇和島				1			14																		宇和島
愛媛県				68	10	5	235	4			25		2		6										愛媛県
週推移	1			24	16	5	245	7	1	1	20		3		3										1週前
				37	12	15	244	7			29				9										2週前
				25	13	17	248	2	1		24	1	4		8										3週前
年齢別	0-5ヶ月			3			2				1														0
	6-11ヶ月			8	1		3				9														1-4
	1			19	1		49	1			10														5-9
	2			13	3	1	33				3														10-14
	3			18	3		27				1														15-19
	4			3	1		18				1		1												20-24
	5			4			20	1																	25-29
	6						10																		30-34
	7					1	11																		35-39
	8				1	2	9	1					1												40-44
	9						8																		45-49
	10-14					1	25	1																	50-54
	15-19						3								1										55-59
	20-29 <sup>5)</sup>						17																		60-64
	30-39														1										65-69
	40-49														1										70-
	50-59																								
	60-69														1										
	70-79 <sup>6)</sup>														2										
	80-																								

定点当たり報告数

四国中央	-	-		7.0	.3						.3	-	-											四国中央
西条	-	-	.5	.3	9.8						.3													西条
今治	-	-	2.0	.4	1.8						1.4		5.0											今治
松山市	-	-	3.2	.5	9.2	.3					.5	.1			-	-	-	-	-	-	-	-	-	松山市
中予	-	-	1.0	.5	4.0						.8													中予
八幡浜	-	-	3.8		3.8						1.8		1.0											八幡浜
宇和島	-	-	.3		3.5																			宇和島
愛媛県	-	-	1.8	.3	6.4	.1					.7	.1	.8											愛媛県

- 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
  - 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
  - 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
  - オウム病を除く。
  - 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
  - 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
- \*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は7月6日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2022年 第25週 (2022.6.20~6.26)

患者報告数	インフルエンザ定点			小児科定点								眼科定点		基幹定点						四国中央 西条 今治 松山市 中予 八幡浜 宇和島 愛媛県 週推移 年齢別						
	1) インフルエンザ		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎		3) 細菌性髄膜炎			4) マイコプラズマ肺炎		1) クラミジア肺炎		1) インフルエンザ(入院)	
	迅速検査A型	迅速検査B型																								
四国中央	1		1	3		28	1						1	-	-											四国中央
西条			4		2	52	6				3															西条
今治			5	1		13					5				2											今治
松山市			8	11	1	107				1	7		1			-	-	-	-	-	-	-	-	-		松山市
中予			5	1	1	18					2															中予
八幡浜			1			16		1			1				1											八幡浜
宇和島					1	11					2		1													宇和島
愛媛県	1		24	16	5	245	7	1	1	20			3		3											愛媛県
週推移																										
1週前			37	12	15	244	7			29					9											1週前
2週前			25	13	17	248	2	1		24	1	4		8												2週前
3週前			3	24	10	248	3	3		25	1	2														3週前
年齢別																										年齢別(基幹定点疾患)
0-5ヶ月			3			2																				0
6-11ヶ月			1			7					3															1-4
1			8	8	1	43	6	1			12		1													5-9
2			2	3		31	1				2															10-14
3			6	2		25					2															15-19
4			1	1	1	16																				20-24
5			3	1		22																				25-29
6				1	1	13							1													30-34
7					1	9				1																35-39
8						9																				40-44
9						11																				45-49
10-14					1	36							1													50-54
15-19						4																				55-59
20-29 <sup>5)</sup>						17									1											60-64
30-39																										65-69
40-49	1														1											70-
50-59															1											
60-69															1											
70-79 <sup>6)</sup>																										
80-																										

定点当たり報告数

四国中央		-	-	.3	1.0		9.3	.3					.3	-	-											四国中央
西条	.1	-	-	.7		.3	8.7	1.0			.5															西条
今治		-	-	1.0	.2		2.6			1.0					2.0											今治
松山市		-	-	.7	1.0	.1	9.7		.1	.6		.1				-	-	-	-	-	-	-	-	-		松山市
中予		-	-	1.3	.3	.3	4.5			.5																中予
八幡浜		-	-	.3			4.0		.3	.3				1.0												八幡浜
宇和島		-	-			.3	2.8			.5		.3														宇和島
愛媛県	.0	-	-	.6	.4	.1	6.6	.2	.0	.0	.5	.1		.4												愛媛県

- 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
  - 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。
  - 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
  - オウム病を除く。
  - 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。
  - 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。
- \*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計(A型・B型の合計数は必ずしも患者数と一致しませんのでご注意ください)。

(参考) 保健所別定点数

定点	数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7	
小児科科定点	37	3	6	5	11	4	4	4	
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1	
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1	

注) 表中の報告数は6月29日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。



全国 定点把握感染症 2022年 第24、25週 (2022.6.13 ~ 6.26)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
24	愛媛県	1.0	.3	.4	6.6	.2			.8				1.1					
週	近畿			.6	.1	6.3	.0	.1		.5	.0	.0		.2				
	徳島県			.6	.1	4.0	.1			.4								
	高知県			.0	.8	.5	3.1	.1	.1		.3	.0	.0		.1			.1
	全 国	.0	.4	.4	.4	5.7	.1	.4	.0	.4	.1	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0
	北海道		.4	.5	.6	3.7	.2	.1	.0	.2	.0	.0		.0				.1
	東北	.0	.1	.4	.4	4.4	.1	.1	.0	.4	.0	.0		.2	.0	.0	.0	.0
	関東	.0	.3	.3	.2	6.5	.1	.5	.0	.4	.1	.0	.1	.2	.0	.0	.0	.0
	甲信越北陸		.1	.5	.4	6.1	.1	.6	.0	.4	.2	.0		.1				.0
	東海		1.2	.3	.3	4.9	.1	.1	.0	.3	.0	.0		.1		.1		.0
近畿		.6	.6	.4	5.9	.1	.1	.0	.3	.0	.0		.2	.0	.0	.0	.0	
中国四国	.0	.4	.5	.5	5.1	.1	.3	.0	.5	.1	.0		.4	.0	.0	.0	.0	
九州沖縄		.3	.5	.6	6.3	.1	.9	.0	.5	.1	.0		.1	.0	.0	.0	.0	

(6.22集計)

25	愛媛県	.0	.6	.4	.1	6.6	.2	.0	.0	.5		.1		.4				
週	近畿			.8	.3	7.0	.1	.0		.4								
	徳島県			.7	.0	4.1				.4				.1				
	高知県			.4	.3	2.4	.0	.1		.5	.1			.3				
	全 国	.0	.6	.4	.3	5.3	.1	.6	.0	.4	.1	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0
	北海道		.6	.5	.8	3.9	.1	.2	.0	.2	.1	.0		.1				.1
	東北	.0	.1	.4	.3	3.5	.0	.2	.0	.4	.0	.0		.2				.1
	関東	.4	.3	.2	.2	5.8	.1	.9	.0	.4	.2	.0	.0	.3	.0	.0	.0	.0
	甲信越北陸		.1	.5	.3	5.9	.1	1.1		.5	.3	.0		.0	.0	.0	.0	.0
	東海		1.5	.3	.3	4.6	.1	.2	.0	.3	.1	.0		.1		.0	.1	.0
近畿	.0	.9	.6	.3	5.4	.1	.2	.0	.3	.1	.0		.2				.0	
中国四国	.0	.4	.4	.3	5.3	.1	.4	.0	.4	.1	.0		.1	.0	.0	.0	.0	
九州沖縄	.0	.4	.5	.6	5.9	.1	1.1	.0	.6	.1	.1		.0	.2	.0	.1	.0	

(6.29集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

